

化学療法指示書（ハラヴェン） 乳癌

第（ ）クール

1クール21日（2週投与1週休薬）

I D		外来・入院(号)
氏 名		性 別
生年 月 日	年 月 日 (歳)	

身 長	cm	主治医	
体 重	kg	腎機能	正常／異常
体表面積	m ²	肝機能	正常／異常
S C r		C C r	ml/min

ハラヴェン 投与量 (1.4mg/m²) = () mg day1, day8

サイン			
P r 調剤	P r mix	N s	医事

年 月 日 (d a y 1)							
2 7	中心静脈注射	9 8	無菌(悪性腫瘍剤)				
3 3	外来化学療法加算	3 9	埋込型カテーテルによる中心静脈				
[:]	① 生食50mL 1V + デキサート注6.6mg 1V (5分)						
[:]	② 大塚生食注50mL 1V + ハラヴェン()mg (5分) ハラヴェン1mg ()V						
[:]	③ 大塚生食注50mL 1V (5分)						
年 月 日 (d a y 8)							
2 7	中心静脈注射	9 8	無菌(悪性腫瘍剤)				
3 3	外来化学療法加算	3 9	埋込型カテーテルによる中心静脈				
[:]	① 生食50mL 1V + デキサート注6.6mg 1V (5分)						
[:]	② 大塚生食注50mL 1V + ハラヴェン()mg (5分) ハラヴェン1mg ()V						
[:]	③ 大塚生食注50mL 1V (5分)						
年 月 日 (d a y 15) 休 薬							

	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day1)		前 中 後	悪心 倦怠感 発熱 末梢神経障害	サイン
	検査データ	バイタル	副作用チェック	看護記録
月 日 (day8)		前 中 後	悪心 倦怠感 発熱 末梢神経障害	サイン

投与基準

好中球 ≥ 1000 血小板 ≥ 7.5 万 AST/ALT ≤ 100 Bil ≤ 2.25 その他の症状がG2以下

減量基準

38.3℃以上の発熱性好中球減少症、血小板＜2.5万又は5万以下で輸血を必要とする場合、身の回りの動作制限を伴う末梢神経障害が出現した場合には1段階減量(1.1mg/m²)を考慮する。

再度同様の減量基準になった場合は2段階減量(0.7mg/m²)をし、それ以上の減量は投与中止を検討する。

主な副作用

- 惡心
- 倦怠感
- 発熱
- 発熱性好中球減少症
- 末梢神経障害
- 脱毛
- 肝機能障害
- 間質性肺炎

調整および投与時の注意事項

ハラヴェン

- 溶解は必ず生理食塩水で行うこと。
- 抜き取り量を表で確認して行うこと。